

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3204874号
(U3204874)

(45) 発行日 平成28年6月23日 (2016. 6. 23)

(24) 登録日 平成28年6月1日 (2016. 6. 1)

(51) Int.Cl.		F 1			
G 0 9 F	3/00	(2006. 01)	G 0 9 F	3/00	S
G 0 9 F	3/02	(2006. 01)	G 0 9 F	3/02	B
G 0 9 F	3/10	(2006. 01)	G 0 9 F	3/10	B

評価書の請求 有 請求項の数 3 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号	実願2016-1570 (U2016-1570)	(73) 実用新案権者	512134587
(22) 出願日	平成28年3月18日 (2016. 3. 18)	新出 泰子	
(31) 優先権主張番号	実願2016-1036 (U2016-1036)	神奈川県大和市下鶴間291-1 レサー	
(32) 優先日	平成28年2月19日 (2016. 2. 19)	ジュつきみ野502	
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)	(72) 考案者	新出 泰子
		神奈川県大和市下鶴間291-1 レサー	
		ジュつきみ野502	

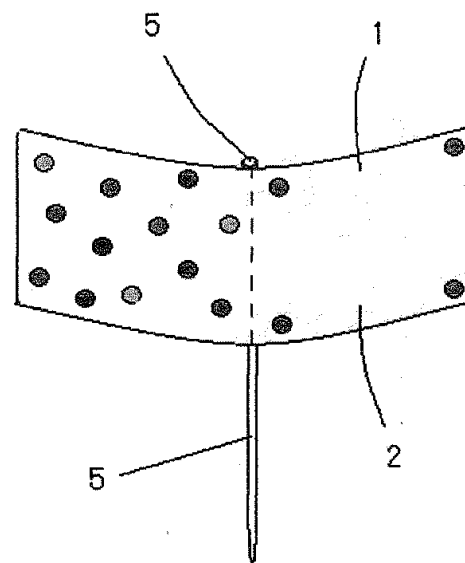
(54) 【考案の名称】 メッセージが書き込めるピック用シール

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】本考案は料理やお弁当を食べる相手に、手軽に安全にメッセージを伝えられる、メッセージが書き込めるピック用のシールを提供する。

【解決手段】本考案は、メッセージピックシール1に透明カバーフィルムシール2を貼付する事と、本シールの粘着剤を貼付していない部分を設ける事でインクや粘着剤が食品に付着する事を防ぎ、爪楊枝等5に巻きつけてシール同士を接着するだけでピックとなるメッセージが書き込めるピック用のシールである。

【選択図】 図3



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

手書きでメッセージを記入したシールを爪楊枝等に巻きつけるだけで、料理やお弁当を彩るメッセージピックとなるシール。

【請求項 2】

メッセージを記入したインクやシール本体の絵柄のインクが食品に付着しないように、メッセージを記入後、シール全体に透明のカバーフィルムシールを貼付する事を特徴とするメッセージピックシール。

【請求項 3】

シール本体の粘着剤が直接食品に触れないように、シールの淵から内側へ数ミリの所は粘着剤を貼付しない事を特徴とするメッセージピックシール。

10

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案はシールに手書きでメッセージを記入し、爪楊枝等に巻きつけるだけで料理やお弁当を彩るピックとなるメッセージを書き込めるピック用シールに関するものである。さらに安全面を重視し、透明カバーフィルムシールを貼付する事と、シール本体の粘着剤をシールの淵から内側へ数ミリの所は貼付しない事を特徴としたシールである。

【背景技術】**【0002】**

20

シールに乗り物や動物、英語のメッセージ等が印刷されていて、爪楊枝等に巻きつけるとピックになるピックシールは実用化されている。

【0003】

実用新案に「メッセージピック」の登録がある。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 1 4 4 7 1 号

【非特許文献】**【0005】**

30

【非特許文献 1】「ピックシール 3 シート入」(株)大創産業

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0006】**

ピックシールはシール全体に絵柄が印刷されているので、メッセージを記入する事ができず、もし記入した場合は、インクが食品に付着してしまう。また、爪楊枝にシールのずれが全く無いように接着するのは難しく、シールがずれて接着された場合、シールの粘着剤が数時間温かいお弁当箱の中で食品に直接付いた状態では安全面に不安がある。

【0007】

メッセージピックは繰り返し使用するものなのか疑問があり、繰り返し使用する場合、シールを剥がす作業が負担になる。繰り返し使用しない場合は、資源的、環境的問題から考え深い所がある。本考案は安全面と手軽さを兼ねえながら、料理やお弁当を食べる相手に気持ちを伝えたり、コミュニケーションをとる事ができる。

40

【課題を解決するための手段】**【0008】**

本考案はシールにメッセージを記入後、爪楊枝等に巻きつけるだけで、料理やお弁当を彩るメッセージピックとなるシールであるが、インクが食品に付着する事を防ぐ為に本シール全体に透明のカバーフィルムシールを貼付し、また、シール本体の粘着剤の付着を防ぐ為に、本シールの淵から内側へ数ミリの所は粘着剤を貼付しない事により、シールが多少ずれて貼り合わさっても粘着剤がむき出しにならないことにより問題点を解決している

50

。

【考案の効果】

【0009】

上述の様に、本考案のメッセージが書き込めるピック用シールは、手軽に安全に料理やお弁当を食べる相手に気持ちやメッセージを伝える事ができるので、直接言い辛い事、例えば「いつもありがとう。」や「昨日はごめんね。」等、また、子供に「がんばって！」とエールを送ったり、「部屋を片付けなさい！」と注意を促したり、その日の予定を忘れないように「18時から歯医者だよ。」等予定を伝える事もできる。このように大切な相手とのコミュニケーションツールとなり、絆や愛情が深まります。

【図面の簡単な説明】

10

【0010】

【図1】本考案の実施例を示す正面図である。

【図2】本考案のシールにメッセージ例を記入し、透明カバーフィルムを貼付する為に剥離紙をはがしている概略図である。

【図3】本考案のメッセージピックシールを爪楊枝に巻きつける事を表した概略図である。

。

【図4】本考案のシールがピックとして完成した概略図である。

【図5】本考案のシールの背面図である。

【図6】本考案の他の実施例を示す概略図である。

20

【考案を実施するための形態】

【0011】

シール本体は、紙基材の裏面に粘着剤層、台紙の剥離紙の順序で積層されている。透明カバーフィルムシールは、カバーフィルムの裏面に粘着剤層、剥離紙の順序で積層されており、粘着剤層の一部がシール本体紙基材の一部と接着されている。

【0012】

粘着剤は安全性の高いものを使用する。

【0013】

カバーフィルムシールは透明で、液体を通さない安全な素材であれば特に制限されないが、ポリプロピレン等が好ましい。

【0014】

30

シール本体の形状はメッセージ記入面と絵柄面が左右対称であれば、どのような形でも対応可能なので、円形、ハート型、花型、動物の形など、特に制限はされない。また、シール本体のサイズも特に制限されない。

【0015】

シール本体の絵柄はメッセージを強調するものや、料理やお弁当を食べる相手を和ませる物、面白い物、季節の行事の絵柄等、様々な色や絵柄で装飾することが可能である。

【実施例】

【0016】

以下、貼付図面に従って実施例を説明する。図2に示すように、予め絵柄が印刷された本シール1の絵柄部分に接着されている3の剥離紙が付いた透明カバーフィルムシール2をめくり、本シール1にメッセージ（本例では「お仕事ががんばってね！」）を記入した後、3の剥離紙を剥がし、透明カバーフィルムシール2を1に貼付する。

40

【0017】

本シール1を4の台紙から剥がし、図5、図3が示すように、本シール1の裏面6の粘着剤層の中心部分に5の爪楊枝等を接着させ、本シール1の両端同士が合うようにシール全体を接着させる事でピックとなる。

【産業上の利用可能性】

【0018】

お弁当箱の蓋を開けた時に手書きのメッセージがあると、とても愛情を感じます。時間も技術もそれほど要さずに料理やお弁当を彩り、且つコミュニケーションがとれ、愛情や

50

絆が深まるので、利用性は高いものである。

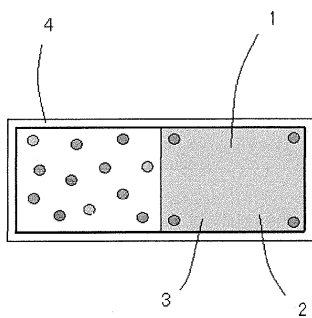
【符号の説明】

【0019】

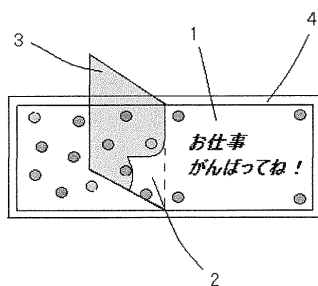
- 1 メッセージピックシール
- 2 透明カバーフィルムシール
- 3 剥離紙
- 4 台紙
- 5 爪楊枝等
- 6 粘着剤層
- 7 粘着剤を貼付していない部分

10

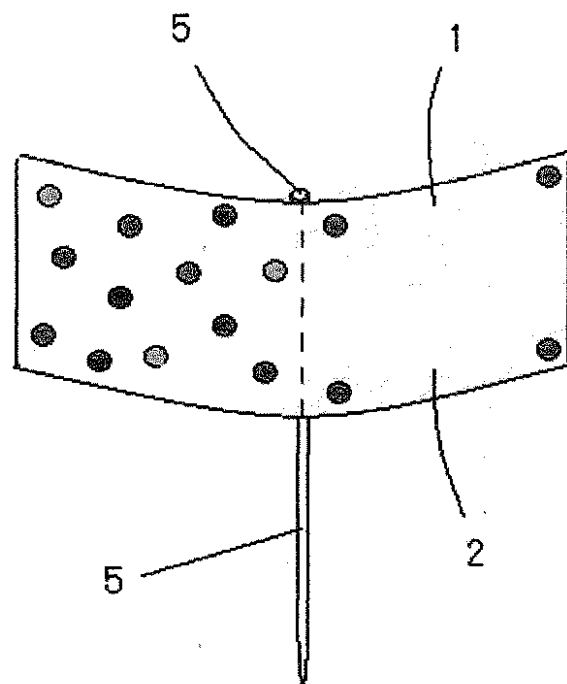
【図1】



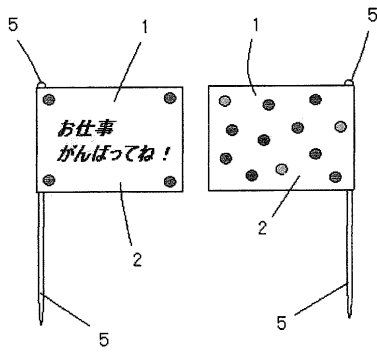
【図2】



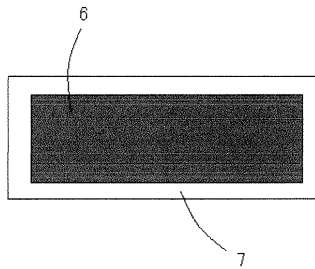
【図3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

